

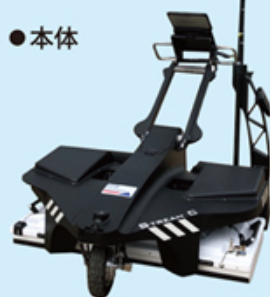
着工前、解体前の埋設物を3次元で確認 見えすぎる最新機種がついに登場

STREAM C リアルタイム埋設配管自動検出アレイレーダーシステム

※写真はイメージです

Stream Cはアレイアンテナより高密度、高精度なデータが得られます。
埋設物をリアルタイムで自動検出し、3Dマッピングに必要なデータを一度の測定で得ることができます。
探査は、平面断層図及びパイプ位置を画面上で確認しながら行うことができます。
また検査範囲に応じて車両による牽引も可能です。高密度、高精度なデータが素早く得られます。

● 本体



120cm

● アレイアンテナ



アンテナ寸法 120cm

探査幅 96cm

57cm

● 調査イメージ



▲ Stream C 調査前

▼ Stream C 調査後



特長①

調査中に埋設配管等を自動で検出

STREAM C

特長②

マルチ(32チャンネル)のアレイアンテナにより
高密度、高精度を実現

STREAM C

特長③

1方向の走行だけで
約1m幅のデータの
取得が可能

STREAM C

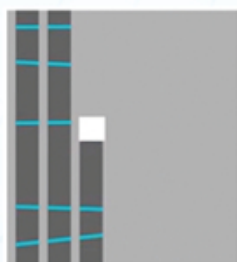
特長④

インフラ維持管理の
業務に力を発揮します

STREAM C

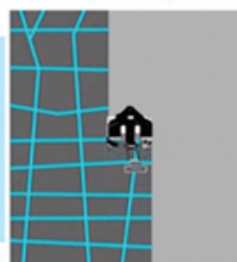
アンテナ特長

縦・横方向の配管が一度に探査することが可能です。アレイアンテナにより高密度・高精度なデータが得られます。



従来の機器

従来は縦・横
検査が必要

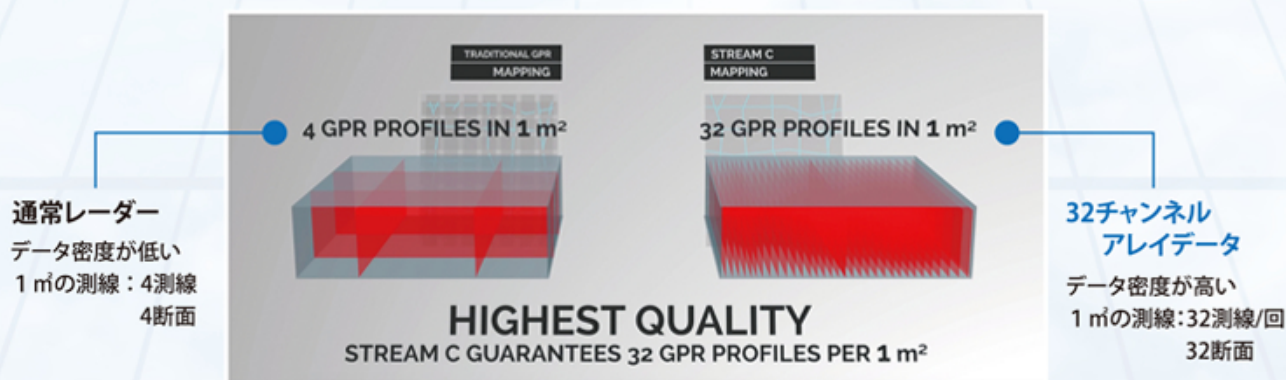


Stream C

Stream Cは縦・横にグリッド検査する必要がありません。配管の分岐や空洞も高密度なアレイアンテナで検査が可能です。
また、埋設管自動検出機能により簡単に検査が可能です。

高密度・高精度アレイアンテナ

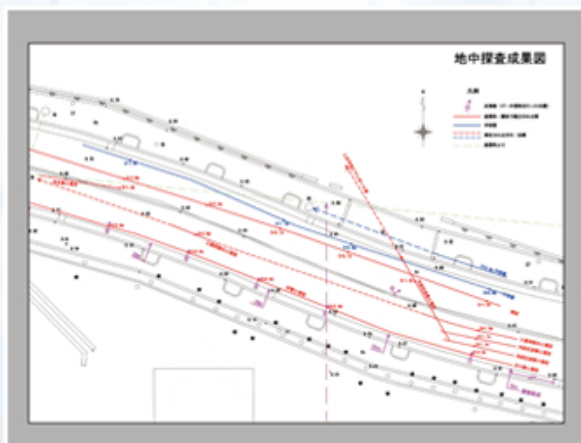
Stream CはHH&VVで配列されたアレイアンテナから高密度・高精度データが得られ、埋設管の見逃しを防ぎます。
埋設深度が変わる配管も詳細に探査することができます。



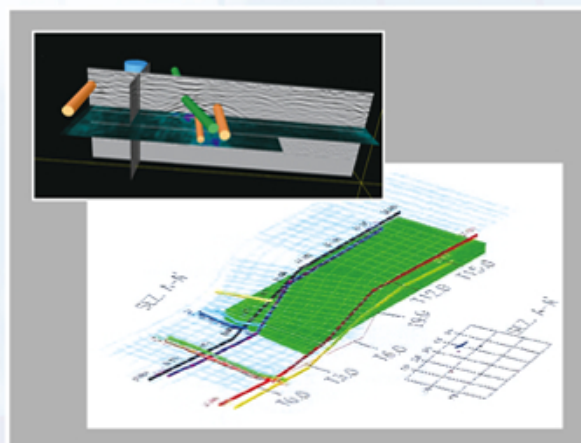
成果作成イメージ

従来は2次元の成果図でしたが、Stream Cでは3次元の成果図を作成することが可能となりました。

従来<成果図>



Stream C<成果図>



株式会社きんそく

<https://www.kinsoku.net>